

白石警察署協議会開催結果の概要

令和7年1月20日

会 議	令和6年度 第2回白石警察署協議会
開催日時	令和6年11月12日（火） 15：00～17：15
開催場所	白石警察署訓授室
出席者	◎協議会：友納由美会長 森重海副会長 久原美智子美委員 早田美幸委員 久原安英委員 (5人) ◎警察署：武藤署長 横尾副署長 副島警務課長 杠生活安全・刑事課長 伊藤地域課長 渡辺交通課長 西村警備課長 警務係長 (8人) 計13人
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 委員の皆様には公私ともお忙しい中、令和6年度2回目の白石警察署協議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。 また、警察署の皆様には、管内の安全・安心のため、日々御尽力いただき、誠にありがとうございます。先月の国スポ、全障スポでも、交通整理や警備などで多くの警察官の姿を街頭で見ました。大変お疲れ様でした。 さて、佐賀県では交通死亡事故が増加しているとのことですし、全国では、闇バイトによる強盗が発生するなど国民に大きな不安を与える事件が報道されています。 住民が安全で安心して暮らせる地域を実現するために、委員や警察署の皆様と活発に意見を交わせたらと思っております。また、本日は、署長から諮問を受け、協議することとしておりますので、忌憚のない御意見を、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3 署長挨拶 皆様には、平素から警察行政の各般にわたり格別の御理解と御協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。 第1回協議会では、当面の業務のひとつとして『国スポ、全障スポでの警備諸対策』を申しておりましたが、大会関係者は元より地域の皆様の御協力もあり、事件事故の発生無く警備を終えることができました。 一方、依然として県内の交通死亡事故の発生が厳しい情勢にあります。9月末から10月初めのわずか8日間で、交通事故により4人もの尊い命が失われ、交通死亡事故多発警報が発令されるなどしました。現在も予断を許さない状況が続いております。 また、全国では、SNSなどで緩やかに結びついた者同士によって、ニセ電話詐欺やSNSを利用した投資詐欺・ロマンス詐欺、「闇バイト強盗」と称される事件が敢行されており、犯罪組織をめぐる情勢が変化しています。 警察ではこれらの犯罪組織を「匿名・流動型犯罪グループ」と位置づけ、実態解明を図っているところですが、犯罪により得た収益を吸い上げる中核部分が匿名化されており、全容を把握することが容易ではないという特徴を有しています。</p>	

匿名・流動型犯罪グループによる犯行は、全国どこで発生してもおかしくなく、ここ白石地区も例外ではありません。

当署では、これらの犯罪情勢を踏まえつつ、窃盗をはじめとした犯罪の予防、更に交通事故の未然防止対策に取り組んでおりますので、委員の皆様から様々な御意見をいただければと思っております。

本日はよろしくお願ひいたします。

4 業務概況報告

- (1) 警務課長 ～ 警察官採用募集活動状況、警察署協議会と連携した活動障害者の理解に向けた取組状況、犯罪被害者等支援状況等
- (2) 生活安全・刑事課長 ～ 刑法犯認知状況、犯罪検挙状況、犯罪抑止活動状況、男女間トラブルの認知状況等
- (3) 地域課長 ～ 地域警察官の活動状況、110番受理状況等
- (4) 交通課長 ～ 交通事故発生状況と特徴、交通事故抑止対策の取組等
- (5) 警備係長 ～ 警衛警備活動状況、災害警備対策の取組、テロ対策の取組等

5 諮問

- (1) 諮問の内容

警察署長が「鍵かけの向上方策」について諮問した。

- (2) 現状説明

生活安全・刑事課長が、

住宅侵入窃盗、自転車盗、車上ねらい被害における無施錠率等を説明した。

- (3) 委員による協議

委員： 回覧板などで窃盗や住宅侵入の件数などを見てもピンとこないの、現場写真を載せたら関心を引くのではないか。

被害者が特定されないような方法で、被害に遭った部屋だけを載せてもらおうと、より説得力がある。

「玄関の鍵OK。」と実際に口に出して指差確認をすればより効果的だと思う。

警察： 家を出る時に鍵をかけたかを指差確認をすることは、良い方法かもしれない。どうしても忘れてしまうことはあるので、鍵かけを忘れ無いうようにするために確認をしたり、書き留めておくのは良い方法だと思う。

委員： あまり使用しない部屋は絶対鍵を閉めていると思っていても鍵をかけ忘れていることがあるので、月に1回は家の中の鍵をチェックするとか、小屋などで死角になっているところはないかなど、家族で見て回る日を決めるのも必要だと思う。

最近、警察官がパトカーやバイクで警戒しているのを見るが、犯罪者からすれば抑止力になっていると思う。

住民が不審（者）だと思ってもその場での通報を遠慮して警察への情報提供が遅れているようだ。

警察が、不審者の情報を元にその地区を警戒することを周知して、住民に情報提供しやすい窓口があることを知ってもらえれば、地域住民とのキャッチボールが活発になり、情報の吸い

上げができて、もっと、犯罪の未然防止ができると思う。

御年配の方には、「鍵をかけてください。」という広報に加えて、優しい言葉で「鍵をかけ忘れていたかもしれない。」ということ意識してもらえるように声かけをしてもらいたい。

そうすれば、御年配の方は心を開き、警察官に話しやすいと思って、いろんな情報を聞き出すことができる。

警察 : 現在若い警察官も巡回連絡に回っているが、若手警察官の中には十分な話術を有していない者もいる。

コミュニケーション能力は直ぐに上達するものではないので、提案を踏まえて、できるだけ親しみを持って対応するように指導する。

委員 : 「通報が犯罪に結びつくのか分からない。」と迷うために、「警察に電話をかけるほどでもない。」と判断して通報を遠慮している住民が多い。

警察 : 犯罪に結びつくか分からないことでも気軽に通報して欲しいと考えている。

委員 : 警察署協議会委員になってから認識が変わり、地域住民へ「警察には何でも通報して良いですよ。」と話しているが、「警察へ通報するべきだろう。」と思っても、「通報して根掘り葉掘り聞かれても答えられる自信が無い。」との意識が働いているようだ。

警察としては情報の詳細を把握したいことは理解できるが、情報の内容に応じて、「そういう事がありましたか。近所にも聞いてみましょう。」などと話してもらえれば、警察へ通報することへの抵抗感が低くなり、住民との距離も近くなる。

商売も一緒だけど、住民が「今度からこの人に話をしよう。」という気持ちになるようにしてもらえれば良いと思う。

警察 : 親しみを持った対応を心掛けるようにし、些細なことでも話しかけてもらえるように指導していく。

委員 : 白石地区は農業を営んでいる世帯が多いという土地柄から、「ちょっと前の田んぼだから（無施錠で）良いだろう。裏までだから（無施錠で）良いだろう。」という意識で、鍵をかけずに自宅を出てしまう傾向がある。

更に、鍵をかけていないことを忘れて外出時間が長引いてしまうことがあり、無施錠が習慣的になっているようだ。

私も以前、鍵をかけずに収穫した米を保管していて盗まれたことがあったが、その時は、まさか自分が被害に遭うとは思っておらず、鍵をかけないでいることが当たり前になっていた。

被害に遭ってからは家に鍵をかけるようになったが、だんだんと危機感が薄れてしまい、今度は母が自転車の鍵を掛けずにいたところ、盗まれてしまった。

その時母に、（自転車にも）鍵をかけないといけないと話していたが、今日確認したら（自転車に）鍵がかかっていなかった。

施錠の意識は薄れていくので、これを向上させるためには、施錠意識の向上に繰り返し取り組んでいく必要がある。

そのために、チラシや回覧を出してもらおうと良いが、方言で

注意を喚起する内容が書かれているとインパクトがあって住民の目にとまるので、防犯意識の向上につながると思う。

警察 : 方言で書いた方が分かりやすく親しみやすいとのことなので、提案を踏まえてチラシ等を作成する。

委員 : 鍵かけの向上方策としては、本人の自覚が大事なので、自覚を促すような広報活動やパトロールの強化をしてもらいたい。

委員 : 私方も、近所に実家があったり、隣家が近いこともあって大丈夫だろうという認識だった。

会議では耳が痛い話ばかりで、改めて鍵をかけないといけないと思った。

住居へ侵入する窃盗は、何時頃に発生しているのか。

警察 : 夜の寝ている時間帯の忍込みや、昼間不在の住居に入る空き巣事件が多い。

6 意見交換・質疑等

委員 : 自転車の飲酒運転は処罰されるのか。

警察 : 自転車の飲酒運転は道路交通法で禁止されているが、これまで処罰の対象は酒酔い運転に限定されていた。

今回の法改正で政令の基準を超える酒気帯びの状態自転車を運転することは、車と同様に処罰の対象となった。

委員 : 自転車の飲酒運転で検挙された人はいるか。

警察 : 改正法の施行から、僅か数日しかたっていないが、報道されたとおり、佐賀市で自転車の飲酒運転など3件を検挙している。

委員 : 中学校が統合されて自転車通学の生徒が増えているが、通学時の自転車の事故は発生しているのか。

警察 : 中学生が交通事故の当事者となった物損事故は発生しているが、白石地区の中学生は、ヘルメットを着用し、黄色のたすきを掛けるなど、他の自治体よりも交通安全対策を十分に行っている素晴らしい生徒が多い。

白石中学校の先生方もかなり力を入れて交通安全指導を行っている。

委員 : 私は、ラベルプリンターで「施錠確認」というラベルを作り、貼り付けている。車の運転席などに貼れば、鍵のかけ忘れ防止の切っ掛けになる。

委員 : 毎年、火の用心のステッカーが配られているが、あんな感じて施錠確認のステッカーがあれば良い。

もう少しおしゃれなものにすれば若者でも貼るかもしれないし、貼っていれば泥棒が意識して住宅に入りにくくなると思う。

7 その他

次回開催は、令和7年1月下旬若しくは2月下旬に予定

8 閉会

9 視察等 (13:30~15:00)

- (1) 管内の災害危険箇所視察
- (2) 災害時のヘリテレ画像視聴

